

授業科目 日常生活活動学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
貝淵 正人、泉 良太、岩波 潤		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健常者の基本動作の特徴を分析することができる。 2. ADL 評価を的確にできる。 3. クライアントの ADL を正しく観察することができる。 4. 対象者に真摯な態度で接し、正しく安全に介助することができる。 5. 対象者の予後を想定し、OT プログラムを立案することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	起居動作の分析			1	実習 貝淵、担当：貝淵 正人
2	ADL 動作分析 1			1・2	実習 貝淵、担当：貝淵 正人
3	ADL 動作分析 2			1・2	実習 貝淵、担当：貝淵 正人
4	ADL 評価			2	実習 貝淵、担当：貝淵 正人
5	姿勢の評価：臥位・座位・立位の観察ポイント			1・3	実習 貝淵、担当：貝淵 正人
6	起居動作・移乗動作と動作分析（正常）			1-5	講義・演習、担当：泉 良太
7	起居動作・移乗動作と動作分析（片麻痺）			1-5	講義・演習、担当：岩波 潤
8	食事動作・整容動作と動作分析			1-5	講義・演習、担当：泉 良太
9	更衣動作（装具着脱含む）と動作分析			1-5	講義・演習、担当：岩波 潤
10	移動動作と動作分析			1-5	講義・演習、担当：岩波 潤
11	トイレ動作・入浴動作と動作分析			1-5	講義・演習、担当：泉 良太
12	生活関連動作（IADL）			1-5	講義・演習、担当：泉 良太
13	生活関連動作（IADL）			1-5	講義・演習、担当：泉 良太
14	国際生活機能分類（ICF）			1-5	講義・演習（泉・岩波）
15	まとめ				担当：貝淵 正人
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動（ADL）・福祉用具学	木之瀬隆	メジカルビュー	2012・4,410円
参考書		片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,460円
		ADLとその周辺 第2版	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,300円
		I・ADL 第3版—作業療法の戦略・戦術・技術	生田宗博	三輪書店	2012・5,670円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
<ol style="list-style-type: none"> (1) 出席2/3以上 (2) 期末試験60点以上 (1)で、かつ(2)の場合、合格とし、期末試験の結果を評価とします。		動きやすい服装で参加すること。 対象者と接する場合には医療従事者らしい真摯な態度で臨むこと。			